



寒波到来！予防策は万全ですか？

- 会員・発注者向けの注意喚起、作業続行の場合の装備、通勤退勤途上での自転車使用厳禁、作業自体の代替案・延期や中止指示などシルバー人材センター事務局としての的確・具体的・タイムリーに発信できていますでしょうか。
- 東京でも数年ごとに、1月と2月にはある程度の深さの雪が積もります。
- 令和4年1月の積雪では転倒事故が40件以上発生し、ほとんどが通いなれた場所の「自損事故」でした。
- 通退勤上の注意喚起と安全対策は十分でしょうか。



降雪時より降雪後、経路途上の転倒に注意！

分析区分	過去の降雪に係る事故発生状況	再発防止の事例
降雪日と事故日の関係	雪が降った当日に起きた転倒事故は全体の 2割に満たなかった 。 雪が降りやんでから起きた転倒事故が 8割を超えていた 。	残雪の凍結で滑る転倒が多発 残雪がある箇所は、晴れていても要注意
交通手段	雪が降り積もっているにもかかわらず、 自転車を使用したこと に起因する転倒事故は 約2割 にのぼった。	自転車の利用を止め代替え手段を講じる 
起因の特徴	雪そのものに滑るというよりも、残雪による 路面凍結で滑ったり、踏み外したり する事故が多かった。	路面凍結に対する危機意識が低い！ 朝晩、日かげ、残雪箇所に対する注意喚起
事故区分	就業中の転倒事故は約3分の1で、残り 約3分の2は経路途上の転倒事故 であった。 	通勤経路途上は、雪に加えて路面凍結に要注意
履き物&滑り止め具	積雪にもかかわらず、 靴底が摩耗 している靴で歩行した転倒事故があった。 雪の中、外出するも、「アイゼン滑り止め」や「滑り止めスパイク」等の 滑り止め具の不使用	履き物を点検 滑り止め具を装着 残雪の無い、凍結の無い箇所を選んで歩行